





教科・科目・講座等	公民科・現代社会	2単位	3学年 (必修)
教科書・副教材等	『高校生の新現代社会 (帝国書院)』 『高等学校 新現代社会ノート (帝国書院)』	教科担当	梅林、西田

学習の到達目標	現代社会の基本となる考え方やしくみ、現代社会の代表的な課題について理解する。 良識ある社会の一員として、よりよい社会の構築にむけて課題を解決していこうとする態度や技能 (討論・発表・論述) を身につける。
---------	---

学期	月	学習内容	進捗状況							アキルスタンダード	評価	学習のねらい	評価の観点	配当時間
			1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組					
一学期	4	○ニュースの読み方・まとめ方 ○社会情勢 ○諸課題								○ニュースに親しみ、情報を適切に収集し、読みとり、発表することができる。(例:1分間スピーチ【発表】、新聞の比較【リテラシー】、フェイクニュース、知的財産権など) ・ <u>ニュースを理解し記事を適切に読みとり内容をまとめる</u>		諸課題分野 ①現代社会の諸課題について、多面的に考察する。	【関心・意欲・態度】 (主体的に学ぶ態度)	6
	5	○現代社会の諸課題と私たちの生き方 ・青年期								<現代社会の諸課題と私たちの生き方> ○現代社会の課題を説明することができる。 ・自己形成の課題を考察し、青年としていかに生きるかを自覚する。 ・ <u>現代社会の基礎用語を理解している</u> (例:人生で大切なことランキング【討論】、若者世代を名付ける【討論・発表】など)		諸課題分野 ②すすんで社会の課題を解決していこうとする態度を養う。	①グループの討論で自分の意見を積極的に述べている。 ②授業での発言や発表に意欲的である。	8
	6	○現代の経済生活と経済活動 (1)現代の経済生活のしくみ								<現代の経済生活と経済活動> ○現実の雇用・労働問題について対応を選択・判断することができる。 ・身近な労働問題の課題を理解し、労働法の原則から考察する		経済分野 ①労働や雇用の問題について理解する。	③ノートやプリントに丁寧に取り組み、提出している。	8
	7									・チームを組んで模擬株式の購入・売買を行い、株価の変動の基礎を学ぶ。(例:労働問題ケーススタディ【討論】、株式学習ゲーム【討論】、求人票から社会保障などを学ぶ)		経済分野 ②経済生活の諸問題を自分の生活と結びつけて考察する。	【思考・判断・表現】 ①ノートやプリントに自分で思考・判断した意見を十分に記述している。	6
二学期	9	(2)経済活動と私たち								○企業・金融・財政の役割を簡単に説明することができる ・企業の資金調達について金融の働きから考察し、法的・社会的責任について理解する。 ・財政の働きと財政問題を理解し、課題を考察する。 ・経済格差の原因など社会構造や国の在り方考える。 ・ <u>経済の基礎用語を理解している。</u> (例:、株式学習ゲーム【討論】、国のあり方選択ゲーム【討論】、など)		経済分野 ③企業、金融、政府の役割について理解する。	②確認テストの論述問題に自分で思考・判断した意見を十分に論述している。	8
	10	(2)経済活動と私たち								<民主社会と倫理と現代の民主政治> ○基本的人権の意義を説明することができる。 ・人間の尊厳と平等に基づく人権について考察する。 ・基本的人権としての自由権、社会権、平等権の考え方を理解する。(例:ハイジャック機撃墜法案【討論】、人権ランキング【討論】など)		政治分野 ①基本的人権の歴史的意味を理解し、現代の課題を考察する。	【資料活用の技能】 ①一分間スピーチに十分に取り組み、発表している。	8
	11	○民主社会と倫理と現代の民主政治 (1)個人の人権								○民主主義の原理を考察し、政治機構の課題について理解する ・日本国憲法の意義としての立憲主義について考察する。 ・ <u>政治の基礎用語を理解している。</u> (例:コンセンサスゲーム【討論】、法案を考える【討論・発表】、民主主義の限界【論述】など)		②民主政治の基本原則を日本の政治機構と結びつけて理解する。	②教科書や資料集、その他資料から必要な情報を読み取り、学習に生かしている。	8
	12	(2)民主政治の基本原則 (3)国民の政治参加								○裁判員として多面的に考え、判断することができる。 ・司法制度の基本的なしくみを理解し、裁判員の役割と責任について考察する。(死刑制度・裁判での人権保障など) (例:評議ディスカッション(昔話法廷)【討論】など)		③民主社会の構成員として、すすんで政治に参加する態度を養う。	【知識・理解】(知識・技能) ①小テストやクイズで学んだ知識を十分に生かして取り組んでいる。	6
三学期	1月から3月まで	○国際社会と日本の役割 (1)国際社会の動向 (2)国際社会と日本								<国際社会と日本の役割> ○「戦争と平和」について解釈し、意見をまとめることができる。 ・核兵器をめぐる現状を理解し、世界の軍縮への取組について考察する。 ・日本の平和主義(9条)を理解し、国連の役割と国際的な問題の解決について考察する。 ・ <u>国際社会の基礎用語を理解している</u> (例:平和についての意見文【論述】など)		国際分野 ①憲法9条と日本の平和主義についての基本的な考え方を理解する ②国連を中心とする国際秩序の基本的な考え方を知り、現在の国際情勢を踏まえ、望ましい国際社会と日本の役割について考察する。	②確認テストの知識問題に十分に理解し、解答している。  【評価基準】 確認テスト 1/3  平常点 2/3	6
通年									○よりよい社会の構築にむけて課題を解決するための基礎となる資質・能力を以下のように育成する(主権者教育) ① 討論・発表・論述などの学習活動を授業の中心にする。 ② 現実の課題に関するニュースを生徒に説明・発表させる。 ③ 社会へ開かれた関心につながるような外部連携を推進する。					

\* 太字については朝の30分授業(ベーシックII)においても学習

\* 評価:A(十分に達成できた)、B(おおむね達成できた)、C(不十分であるが達成できた)、D(達成できなかった)

教科・科目・講座等	公民科・一般社会B	2単位	3学年 (自由選択)
教科書・副教材等	自作プリント	教科担当	舟山

学習の到達目標	個々の目標とする公務員試験対策を学習し、公務員試験の基礎知識を培う。 公民分野（経済・政治）を学習し、過去問題に取り組むことで試験に臨むための知識を養う。 時事問題に関して多面的に考察し、持続可能な社会の形成について意見を持つことができる。
---------	--

学期	月	学習内容	進捗状況							アキルスタンダード	評価	学習のねらい	評価の観点	配当時間
			1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組					
一学期	4月から7月まで	(採用試験ガイドス) 各公務員試験の過去問題及び社会科学・人文社会の内容の演習問題								<公務員採用試験の種類や公務員の仕事内容などの理解を深める> ・公務員試験に臨むにあたり、過去の採用状況や試験内容についての解説を実施し理解を深める。 ・講師を招いて様々な視点からのガイダンスを実施し、今後どのような学習が必要かを自覚させる。  <公務員試験における社会科学・人文科学分野の演習を実施し知識を深める> ・本校生徒の公務員希望者の多くが希望する各採用試験日程 1) 警視庁試験は、毎年9月と1月に実施 2) 自衛隊一般曹試験は、9月に実施 3) 自衛隊候補生は、年間を通じて応募  ・概ね9月に実施される各採用試験に臨むにあたり、合格できるだけ多くの演習を行う。そのため自宅学習課題を多く出題していく。 ・試験の内容が幅広いため、個々の内容についての解説を重視するのではなく、できるだけ多くの過去問題に取り組む、知識・理解を深めることができる。		各種試験で共通している以下の2分野について基礎基本を説明後、問題演習を実施する。 ①政治分野 ②経済分野  これらの分野における演習問題に取り組む、知識を養うとともに理解力を高める。	<b>【関心・意欲・態度】</b> (主体的に学ぶ態度) ①自宅学習課題(問題演習)に取り組む提出している。 ②プリントに丁寧に取り組み、提出している。  <b>【思考・判断・表現】</b> ①プリントに自分で思考・判断した意見を十分に記述している。  ②小論文で自らの意見を簡潔に述べる事ができている。また面接で志望理由などを述べる事ができる。	28
二学期	9月から12月まで	小論文・面接に関する資料を配布して学習に取り組む								<各採用試験に向けての準備> ・採用試験について、最終段階の演習問題を行い、知識の再確認及び傾向と対策についての確認をする。 ・面接にて志望理由等きちんと答えられるようにする。	①面接試験にて、志望理由や仕事内容など対応できる。	<b>【資料活用の技能】</b> ①資料から必要な情報を読み取り、学習に生かしている。	30	
三学期	1月から3月まで	時事問題について、自らの意見を説明し、議論を行う。								<時事問題について多面的に考察する。> ・情報をどのように入手し、判断するのかというメディアリテラシーを身に付ける。また多面的・多角的に考察して、自らの意見を書いていく。	①情報の扱いや表記に気を付けて意見を述べることができる。  ②メディアから出された情報を多面的・多角的に考察することができる。	②ネットを活用して必要な情報を読み取り、学習に生かしている。  <b>【知識・理解】</b> (知識・技能) ①小テストや演習問題で学んだ知識を十分に生かして取り組んでいる。 ②小テストの知識問題に十分に理解し、解答している。	評価の基準 小テスト等 30% 平常点等 70%	20

\* 太字については朝の30分授業 (ベーシックⅡ) においても学習

\* 評価: A (十分に達成できた)、B (おおむね達成できた)、C (不十分であるが達成できた)、D (達成できなかった)